

おにぎり石の伝説

3 時間目

名前

年 組 番

まとめり2の表現読みを通して、登場人物の気持ちをつかもう。

① 先生の音読を聞きながら、会話文に記号を入れましょう。(シ(真)、一(成)など)

② 会話文にはどのような気持ちが表示されているか、書きこみましょう。

③ 地の文の次の部分には真のどのような気持ちが表示されているか、書きましょう。

ぼくは絶句だ

人工的な石であることを知って

おもいがけなく驚いた気持ち

まぬけな声のカラスが鳴いた

自分たちもなんてまぬけだったんだという気持ち

ぼくはあわてて首を横にふった

一成に真実を告げられて良かったという気持ち

④ このあと二人はどんな会話をしたかを考えて書きましょう。

真 「ちよつとお願いがあるんだけど。」

一 なに？

真 このことをクラスマイトに伝えて石探しの変な騒動をやめさせたいんだ

一 それはいいね どうすればいいか考えよう

⑤ 役わりを決めて、(表現読み)をしましょう。表現読みをくり返したり、ビデオにとつてふりかえったりしながら、書きこんだ気持ちをよりよくしてみましよう。

⑥ なぜ一成は真の願いを聞き入れたのか理由を書きましよう。

一成は、もともと二組のようすを「ちょっと変」「何かにとりつかれている」と思っていており、その

背景に自分の家の石があることを知ったので、自分の力でそれをやめさせたほうがいいと考えたから